

02 安心できる居場所であるために（性的マイノリティ）

みな 皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、最上もがお届けします。タイトルは「安心できる居場所であるために」です。

ぜんこく 全国各地の大学には、セクシュアル・ジェンダーマイノリティの学生が活動するサークルが多数あり、セクマイサークルと呼ばれています。

ふくおか 福岡県内にある大学のセクマイサークルでは、LGBTQの当事者や、当事者かもしれないと悩んでいる人たちが集まり、交流をメインにした活動をしています。

15 リーダーのタカさん（仮名）は、サークルに入った理由を次のように話しています。

ちゅうがくせい 中学生の頃から、自分が周りの人たちと違うことを感じ、しょうらい 将来を考えると不安でした。大学でセクマイサークルを知り、自分だけじゃないんだと思えて、気が楽になりましたね。」

20 現在のメンバーは、大学院生も含めて20人ぐらい。活動への参加は自由で、交流会を月1回、食事会を年2回ほど開いています。

あたらしい 新しい人が参加するとき、タカさんは「セクシュアリティ

25 のことは、打ち明けても打ち明けなくてもいいんだよ」と伝えていきます。また、「サークル内で聞いたことを外部の人には話さないこと」をルールとしています。タカさんは言います。

30 「自然にセクシュアリティの話になることはあっても、自分から言わない限り尋ねることはありません。普段は、学校のことや好きなアニメ、映画の話など雑談をするだけです、みんなといるとすぐ心地いいんです。人はそれぞれ考え方も性格も違うので、徐々に知り合っていけばいいし、安心して過ごせる居場所であることが、何よりも大事だと思います。」

35 男らしさや女らしさ、普通という概念に苦しんできたメンバーが多いからこそ、多様な人を温かく受け入れるサークルの風土が育まれてきました。

40 最後にタカさんは、中高生に向けて、次のように話してくれました。

「セクシュアリティも個性の一つだと思います。自分は少数派だと悩んでいる人も、きっと仲間は見つかるので、希望を持つてください。」

45 LGBTQ当事者の多くは、カミングアウトをしていないといわれます。私たちの周りにも不安な思いを抱えている人がいるかもしれません。一人一人の違いを個性として受け入

れる人が増えれば、誰もが安心して自分らしく生きられるの
ではないでしょうか。

(本文 949 字)